

第2期千葉県地方創生総合戦略（案）に関する意見と県の考え方

1 パブリックコメント実施期間 令和2年10月14日（水）～11月4日（水）午後5時

2 意見提出者数（意見の延べ件数） 3名（9件）

3 提出された意見の概要と県の考え方

※県民の皆様からの意見については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

番 号	該 当 箇 所			意見の概要	意見に対する県の考え方
1	第I章	2 千葉県における長期的な展望	(1) 人口の将来見通し	<p>④第1期千葉県地方創生総合戦略の計画期間における主な課題</p> <p>千葉県国土強靱化地域計画に沿った戦略が実行され、「強さとしなやかさ」を備えた千葉県になっていることが必要であることから、「安全・安心な暮らし」がかなう千葉づくり」に以下の項目を追記したらどうか。</p> <p>○ 大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らず、迅速な復旧、復興が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年房総半島台風など近年その発生頻度と規模が増大している自然災害への備えと早期の復興が課題 	<p>「第1期千葉県地方創生総合戦略の計画期間における主な課題」については、第1期戦略に掲げる基本目標に沿って、千葉県地方創生総合戦略策定懇談会において委員からいただいた意見を基に整理したものです。一方で、本県においては、令和元年房総半島台風等の災害により、甚大な被害を受けたところです。</p> <p>このため、本戦略では、「本県における地方創生を確実に進めていくためには、令和元年房総半島台風や新型コロナウイルスの感染拡大による甚大な被害等からの迅速な復興を遂げる必要がある」と課題認識するとともに、本戦略を支える基本的視点の1つとして、「災害・感染症からの復興・回復を支える取組」を掲げています。</p>
2	第I章	2 千葉県における長期的な展望	(2) 地方創生に向けた将来の基本方向	<p>③目指すべき将来像</p> <p>千葉県国土強靱化地域計画に沿った戦略が実行され、「強さとしなやかさ」を備えた千葉県になっていることが必要であることから、「オール千葉で支え合う安全・安心に暮らせる千葉の実現～人口減少に対応した県づくり～ ・令和元年房総半島台風や令和元年10月25日の大雨などによる被害、更には新型コロナウイルスの感染拡大による影響から復興・回復を遂げている。」の文末に以下の内容を追記したらどうか。</p> <p>さらに、いかなる大規模自然災害や感染症等が発生しようとも、人命の保護が最大限図られ、県及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持され、県民の財産及び公共施設に係る被害が最小化され、迅速な復旧復興が図られる。</p>	<p>御提案いただいた、大規模自然災害や感染症等発生時の人命保護や迅速な復旧復興等については、本県が目指すべき姿として、重要な視点であると認識しております。</p> <p>このため、「県と市町村・国・民間等との連携強化をはじめ、停電・断水対策や治水対策、道路ネットワークなど各種インフラの強靱化、医療提供体制の充実、地域における人々の支え合い等が一層進展することで、本県の産業基盤や生活基盤が災害に強くなり、あらゆる世代が安全・安心に暮らし、活躍できる社会」を将来像として設定しており、御提案いただいた御意見と趣旨は一致しているものと考えます。</p>

番 号	該 当 箇 所			意見の概要	意見に対する県の考え方
3	第Ⅱ章	基本目標1 地域経済の 好循環を生 み出す環境 づくり	②力強い農 林水産業の 確立	力強い農水業の確立は担い手個人個人の努力と公共団体の細かな現場認識により成り立ち向上するもの。作業内容の相違による問題は指導をはじめ仲介役の知識、行動が重要である。各農家の定期的な訪問相談を検討してほしい。	御指摘の事項については、県内10か所の農業事務所が生産現場などで行っている普及指導活動のなかで、農業者からの相談等に対応しているところであり、引き続き、きめ細やかな対応に努めてまいります。
4	第Ⅱ章	基本目標2 県内外に発 信する魅力 づくり	①国際都市 として発展 するCHIBA の基盤 づくり	イ. MICEの誘致 本県内のMICE施設で最も魅力を発信する施設であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場にも選ばれた「幕張メッセ」の記載がないことから、下記のとおり、記載を見直したらどうか。 イ MICEの誘致 国際会議などのMICEの開催は、ビジネス機会やイノベーションの創出につながるるとともに、大きな経済波及効果を生み出す。本県には、日本を代表する複合コンベンション施設であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場に選ばれた幕張メッセなど世界に向けた情報発信の場となる施設があり、我が国や首都圏に注目が集まる状況を最大限に活用し、MICEの誘致を推進する。 ・国際会議補助金制度の活用によるMICEの誘致 ・（公財）ちば国際コンベンションビューローや市町村と連携したMICEの誘致 ・MICE開催及びアフターMICEに係る主催者への各種支援活動の実施 ・幕張メッセの機能向上と展示会・イベント等の積極的誘致等	本県においては、国際会議観光都市として、千葉市、成田市、木更津市、浦安市の4つの都市が認定されており、国際会議や展示会、イベントなどの様々なMICEの誘致に取り組んでいるところです。 中でも幕張メッセは、日本有数のコンベンション施設であり、MICEの誘致に中核的な機能を有しているものと認識しています。そのため、御指摘も踏まえ、取組に「幕張メッセの機能向上と展示会・イベント等の積極的誘致」を追記することとします。
5	第Ⅱ章	基本目標4 誰もが安心 して暮らせ る地域づく り	①安全に暮 らせる地域 づくり	イ. 災害に 強い地域づ くりの推進 風水害や地震等の発災時の対応は重要だが、これらの災害に備えて行政機関や拠点病院等が機能不全に陥らないように系統電力以外のエネルギーを備えておくことが重要であるため、「また、災害時に避難地等として機能する港湾緑地や県立都市公園の整備の推進を行うとともに、風水害や地震等」の後に、「に備えて、防災拠点や災害時に機能を保持すべき施設への自立・分散型エネルギー整備を進め、」を追記したらどうか。	御指摘のとおり、災害時に行政機関や拠点病院等が機能不全に陥らないよう備えることが重要であると認識しております。 このため、基本目標4①イ「災害に強い地域づくりの推進」に、「行政機関」を追記し、「（前略）上下水道施設や災害時に中核的な役割を果たす医療機関や行政機関などにおける停電・断水対策や耐震化等を促進する。」とします。 なお、「防災拠点」の中には、災害時に自衛隊等の救援部隊が利用する公園、緑地等、停電・断水対策等が必須ではない施設もあることから、「行政機関」を追記しました。 また、太陽光や風力等による再生可能エネルギーは、自立的な利用が可能であり、また、持続可能で災害に強いまちづくりを支える地域分散型エネルギーとして活用していくことが重要であるため、基本目標4②オに「地域分散型エネルギーの推進」を位置付けております。
6	第Ⅱ章	基本目標4 誰もが安心 して暮らせ る地域づく り	②快適で暮 らしやすい まちづくり	オ. 地域分 散型エネル ギーの推進 近年の自然災害の頻度と規模は増大している傾向にあるが、原因の一つは地球温暖化である。エネファームなどの住宅用省エネルギー設備の導入促進は、温暖化ガスの排出抑制に有効な施策として、千葉県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）にも具体的な施策として織り込まれているほか、特にエネファームは、水素社会の実現に向けて、国を挙げて導入促進が図られていることから、「住宅用太陽光発電設備等の家庭への導入を支援する。」の「住宅用太陽光発電設備」の後に「、エネファーム」を追記したらどうか。	本戦略は、急激な人口減少の緩和、地域経済の活性化及び持続可能な地域社会の確立に特化したものであり、県政全般にわたる政策を網羅したものではありません。 御指摘の箇所については、省エネルギー設備の導入支援ではなく、再生可能エネルギーの地域分散型エネルギーとしての活用について記載しております。

番 号	該 当 箇 所	意見の概要	意見に対する県の考え方
7	用語解説	<p>用語解説に以下の用語を加えたらどうか。</p> <p>エネファーム 都市ガスやLPガスを使って、空気中の酸素とガスに含まれる水素から電気と熱をつくる家庭用の燃料電池システムの名称。 国の水素・燃料電池戦略では2030年までに日本全国で530万台の導入を目指している。</p>	<p>用語解説については、本戦略に記載されている用語のみ取り上げています。</p>
8	用語解説	<p>用語解説に以下の用語を加えたらどうか。</p> <p>国土強靱化計画 東日本大震災をきっかけに、大規模自然災害から人命を守り、また経済社会への被害が致命的なものにならず迅速に回復する、「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを平時から構築するという発想に基づき、この発想を継続的に取り組むことを旨とする計画。2014年6月に閣議決定。これを受けて千葉県においても2017年に「千葉県国土強靱化地域計画」を策定した。</p>	<p>用語解説については、本戦略に記載されている用語のみ取り上げています。</p>
9	用語解説	<p>用語解説の「地域分散型エネルギー」の説明の後に、以下の一文を追記したらどうか。</p> <p>なお、類似の用語に「自立・分散型エネルギー」があるが国土強靱化計画の中で多く使われ、系統電力の供給が途絶えた場合に、自ら起動して電力等のエネルギーを供給することができるシステムを言う。</p>	<p>用語解説については、本戦略に記載されている用語のみ取り上げています。</p>